

## 事例紹介シート

① 学校名	京都府立盲学校
②教科・領域 科目等	保健体育科、家庭科
③单元名	いのちについて考えよう
④目標	「妊娠・出産」に関する知識を助産師の専門的な視点から学び、いのちの尊さと自他を尊重することの大切さを理解する。
⑤受講者	中学部3年生（1名）、高等部普通科1～3年生（9名） 合計10名
⑥連携先	京都府助産師会
⑦内容  ・取組の特徴 や工夫 等	<p><u>1 助産師からいのちの話（実態別に2グループに分けて実施）</u></p> <p>（1）グループ1  <u>体の清潔、射精教育、月経教育～男女別に模型の触察・体験～</u></p> <p>（2）グループ2  <u>① 性交と妊娠のしくみ ～骨盤や子宮の模型の観察・触察～</u>          ・卵子と精子が出会うと妊娠につながることもある。          ・性交は「心からの同意」があるときのみ成立する。</p> <p><u>② 妊娠に気づく方法 ～妊娠検査薬を触りながら～</u>          ・起こりやすい変化（生理がとまる、体がだるい等）          ・妊娠検査薬、超音波検査</p> <p><u>2 体験（2グループ合同）</u></p> <p><u>① 赤ちゃんはどう育つ？ ～胎児模型の観察～</u>          ・受精卵は針であけた穴ほどの大きさから280日で急成長</p> <p><u>② 妊婦さんのからだ ～妊婦ジャケット体験～</u></p> <p><u>③ 出産とは ～オーガンジー子宮袋を使い生まれる体験～</u>          ・赤ちゃんは「子宮→産道→外の世界」へ</p> <p><u>④ 赤ちゃんのお世話 ～赤ちゃん人形抱っこ体験～</u>          ・赤ちゃんは、昼夜関係なく24時間のケアが必要。          ・赤ちゃんの暮らしには、複数の大人の協力が必要。          ・パートナー、家族、周囲、専門職が協力する。</p> <p><u>3 将来のために</u>          ・妊孕性（妊娠しやすさ）は男女とも35歳頃から緩やかに低下。          ・未来の選択肢を広げる知識として大切。          ・未来の自分を守るため、生活習慣を整えておくことが大切。</p>
⑧成果・生徒 の感想等	・他教科と合同で行うことで普通科生全員を対象にした取組になり、生徒がお互いに関わりあいながら体験することができた。「いのちを大切にしようと思った。」「もっと乳児のことを知りたいと思った。」「赤ちゃん人形で重さを体験し、自分の子どもができた時の実感がわいた。」「妊婦さんの大変さを改めて考えることができた。」「妊婦さんにバスなどの座席を譲るようにしたい。」など、実施後の感想もとても前向きなものばかりであった。

